

山口県「地域協育ネット」連絡会議及びコミュニティ・スクール担当者会議

■趣 旨 「地域協育ネット」及びコミュニティ・スクールの全県における普及を図るとともに、先進的な取組の成果等を共有し、学校と地域が一体となり、知・徳・体の調和のとれた子どもたちの「生きる力」を育む学校づくり、地域づくりの推進に資する。

■参加者 各市町・県教委「地域協育ネット」担当者、各市町・県教委コミュニティ・スクール担当者等

第1回

1 日時・会場 5月16日（木）13：30～16：30 県庁職員ホール

2 参加者 70人

3 内 容

- (1) 各課所管説明 「地域協育ネット」及び「コミュニティ・スクール」について
- (2) 事例発表 「あさなえネット」の取組について 発表者：光市立浅江中学校 教諭
 - 平成23年度に「あさなえネット」と命名して、「学校運営協議会」「企画推進委員会」「プロジェクト部会」の三層構造で運営。
 - メインテーマ「地域と保護者、学校が知恵を出し合い、未来を担う人材を育成する」
～つながり日本一をめざして～
- (3) 講話 講師：光市立浅江中学校 校長
 - コミュニティ・スクール推進のポイントは、①教職員の意識改革、②地域人材の選び方、③生徒への浸透、④教育委員会の支援の4つ。
 - 三層構造の特徴は、全教職員がプロジェクト部会に所属していること。
 - 継続するためのポイントは、関係者が無理せずに楽しんで参加すること。

第2回

1 日時・会場 9月5日（木）13：30～16：00 教育委員会室

2 参加者 54人

3 内 容

- (1) 市町教委の取組紹介
 - 岩国市教育委員会の取組 岩国市教育委員会 指導主事
 - ・小中が連携したネットワークづくり
 - ・コミュニティ・スクールを核にした地域協育ネット
 - ・学校教育課と生涯学習課が一体となった推進
 - 柳井市教育委員会の取組 柳井市教育委員会 教育長
 - ・H15年度 学校支援ボランティアの導入
 - ・H20年度 市内全小・中学校のコミュニティ・スクールの指定
 - ・H25年度 全中学校区の地域協育ネット協議会の設置
 - ・コミュニティ・スクールからスクール・コミュニティへ
- (2) 指導講話 義務教育課長
 - 「地域連携」「小中連携」が改善のカギ。そのための手段がコミュニティ・スクール。
 - コミュニティ・スクールを通して、学校と地域を、子どもと地域を、そして、地域と地域をつなぐ。
 - 協議会でめざす学校像、理想の姿を共有しているか、単なる話し合いだけで終わっていないか、協働の場は設定されているかなどの課題への対応が必要である。

第3回

1 日時・会場 12月13日（金）13：30～16：40 県庁共用第2・3会議室

2 参加者 57人

3 内 容

- (1) 所管説明：「地域とともにある学校」をつくる
- (2) コミュニティ・スクール研究指定校の取組の現状及び課題等の報告
- (3) グループ別協議
テーマ「小中連携、地域との連携・協働の充実のための行政としての支援の在り方」